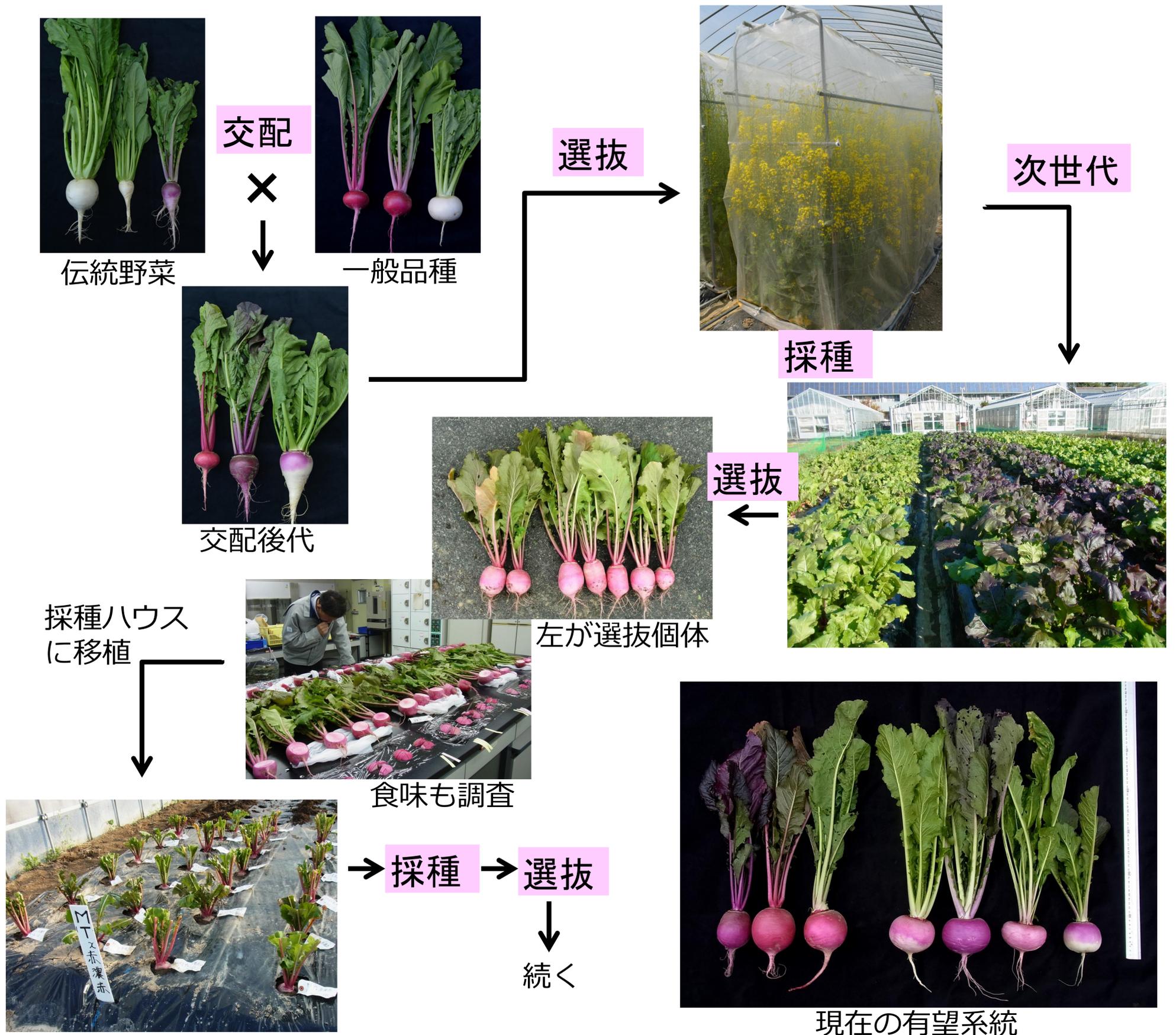


新しい食べ方で消費拡大につながる伝統野菜の復活 ～紫、赤色等の小カブ品種育成～

伝統野菜であるみず菜は、小さく柔らかい品質にすることでサラダ等の新しい食べ方に向くよう改良されました。それに習い、伝統野菜のカブと一般のカブを交配することにより、生食や電子レンジ調理に向く小カブ品種の育成を行っています。



交配2世代目より1系統800株以上から色や形、さらに食味の良い株を数十株ずつ選抜して採種し、それを何世代も繰り返して形質の固定化を図ります。

育種目標は、根が紫や赤色等の鮮やかな色で、甘くて美味しい小カブです。新たな需要の開拓が期待されます。